

「滅び」と生きる

宮崎県椎葉村の生態変化、生存戦略、
種間関係の動態

合原織部 著

A5判上製 280頁 予価：本体3400円+税
ISBN978-4-8140-0591-8 C3039

刊行予定：2025年5月中旬 条件：新刊委託

読者対象：専門

おすすめの棚：人類学

おすすめ度：★★★★☆

◎新たな種の交渉。

それが示すのは滅びか？ 希望か？

ただ「滅び」るだけが農山村の今なのだろうか？ 宮崎県椎葉村。かつては狩猟採集や焼畑を生業とした「秘境」にも、大きな変化が訪れている。環境破壊と生業変容は、滅びなのか、新たな種間関係を示す希望なのか？ 種の交渉をミクロに見つめながら、この不安定な世界を生き抜く知恵と技をつむぐ。

◆合原織部：法政大学人間環境学部講師

学術選書 119

ポスト構造主義 フェミニズムとは 何だったのか

古川直子 著

四六判並製 220頁 予価：本体2000円+税
ISBN978-4-8140-0589-5 C1336

刊行予定：2024年5月中旬 条件：新刊委託

読者対象：一般

おすすめの棚：社会学・選書

おすすめ度：★★★★☆ 配本ランク：★★☆

◎セックス/ジェンダーの概念区分を再考する

性的マイノリティやフェミニズムのテーマが社会的な関心が高まりつつある一方で、概念的レベルでの理論的な検討作業は長く停滞している。かつてポスト構造主義フェミニズムは、セックスもまた社会的構造物でしかないと主張した。本書はその問題点を明らかにすることによって、セックス/ジェンダーの概念的枠組みを刷新することを目指す。

◆古川直子：長崎総合科学大学共通教育部門講師

注文書 3月号②

お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番 線 印	冊	新 刊 委 託 指 定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当		「滅び」と生きる 【4/30 締切】 ISBN 978-4-8140-0591-8 C3039 予価：本体 3400 円+税
番 線 印	冊	注 文 扱 返 条 付	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当		【学術選書】 ポスト構造主義フェミニズムとは 何だったのか 【パターン上積】 ISBN 978-4-8140-0589-5 C1336 予価：本体 2000 円+税